

公益社団法人日本地震工学会 第26回理事会議事録

A. 日時：2017年3月30日（木） 16時00分～19時00分

B. 場所：建築会館 308会議室

C. 出席者：（会長）目黒公郎，（次期会長候補）福和伸夫，（副会長）木全宏之，中埜良昭
（担当理事）吉見雅行，田中宏司，原田健二，長島一郎，大堀道広，山口 亮，
楠 浩一，高橋郁夫，甲斐芳郎，中村友紀子，宮腰淳一，中村いずみ，
入江さやか

（監事）勝俣英雄，中村 晋

欠席：（担当理事）秋山充良，室野剛隆

オブザーバ出席：吹野美絵事務局長，小松康典事務局員

D. 議題および提出資料：

報告事項

- | | |
|---------------------------------------|----------|
| 1) 笠井先生依頼事項について（田中理事） | |
| 2) 第25回理事会議事録（案）の確認（田中理事） | 資料 26-01 |
| 3) 第11回拡大正副会長会議報告（田中理事） | 資料 26-02 |
| 4) 会務報告（田中理事） | 資料 26-03 |
| 5) 会計報告（原田理事） | 資料 26-04 |
| 6) 事業企画委員会からの報告（宮腰理事・中村友紀子理事） | 資料 26-05 |
| 7) 論文集編集委員会からの報告（大堀理事） | |
| 8) 会誌編集委員会からの報告（高橋理事） | 資料 26-06 |
| 9) 国際委員会、地震災害対応委員会からの報告（楠理事） | |
| 10) 情報コミュニケーション委員会からの報告（中村いずみ理事、山口理事） | 資料 26-07 |
| 11) 広報部会からの報告（入江理事） | 資料 26-08 |
| 12) 【メール審議】役員候補推薦委員会の新規委員について（田中理事） | 資料 26-09 |

議案

- | | |
|----------------------------|----------|
| 第1号 入退会者（室野理事） | 資料 |
| 26-10 | |
| 第2号 委員会委員の委嘱（田中理事） | 資料 |
| 26-11 | |
| 第3号 共催・後援・協賛等（田中理事） | 資料 26- |
| 12 | |
| 第4号 新規研究委員会の立上げについて（中埜副会長） | 資料 26-13 |
| 第5号 平成29年度事業計画（案）（田中理事） | 資料 26-14 |
| 第6号 平成29年度収支予算書（案）（長島理事） | 資料 26-15 |
| 第7号 今年度の表彰について | |

(7-1) 功績賞 (吉見理事)	資料 26-
16	
(7-2) 功労賞 (吉見理事)	資料 26-
17	
(7-3) 名誉会員 (木全副会長)	資料 26-
18	
(7-4) 感謝状 (木全副会長)	資料 26-
19	
(7-5) 論文賞 (中埜副会長)	資料 26-
20	
(7-6) 論文奨励賞 (大堀理事)	資料 26-
21	
第 8 号 論文投稿料の改定について	資料 26-22

懇談事項

13) 理事会のスリム化案について (吉見理事)	資料 26-23
14) 次期理事会理事候補者の選考について (田中理事)	資料 26-24
15) 規程・規則の改定について (吉見理事)	資料 26-25
16) 会員関係規則の改定について (木全副会長)	資料 26-26
17) 論文賞細則の改定について (中埜副会長)	資料 26-27
18) 2018 年日本地震工学シンポジウムについて (中埜副会長)	資料 26-28
19) 17WCEE 関連 (中埜副会長)	資料 26-29
20) システム性能評価委員会セミナー開催について (中埜副会長)	資料 26-
30	
21) 柴田明德先生の件 (目黒会長)	
22) 『活断層が分かる本』出版の報告 (吉見理事)	
23) 事務局長の交代について (木全会長)	
24) 今後の予定について (田中理事)	資料 26-31

D. 議題および提出資料：

報告事項

1) 笠井先生依頼事項について

田中理事より、東京工業大学笠井先生からの依頼について説明があり、異議なく承認された。本承認に基づき、東京工業大学の大型 3 方向加力実験装置計画の文部科学省への提案について、日本地震工学会が支持する要望書を目黒会長名で東京工業大学に発出することとする。

2) 第 25 回理事会議事録 (案) の確認

田中理事より、資料 26-01 を基に第 25 回理事会の議事録が説明され、異議なく承認された。

3) 第 11 回拡大正副会長会議報告

田中理事より、資料 26-02-01 を基に第 11 回拡大正副会長会議の議事録が説明され、異議なく承認された。また、資料 26-31-02 に基づき内閣府立入検査の結果について説明があった。検査結果に基づき、次回の内閣府の報告書類から順次改定していくこと、規定類については来年度以降改定を検討していくことが確認された。

4) 会務報告

田中理事より、資料 26-03 を基に会務報告がなされ、異議なく承認された。

5) 会計報告

原田理事より、資料 26-04 を基に今年度の会計報告がなされ、異議なく承認された。

6) 事業企画委員会からの報告

宮腰理事・中村友紀子理事より、資料 26-05 に基づき事業企画委員会の活動状況および活動計画の報告がなされ、異議なく承認された。E-ディフェンス見学会、震災予防講演会の結果報告、旧東京音楽学校奏楽堂の修理現場見学会、木造オフィス（ウッドスクエア、ポラス建築技術訓練校の見学会の計画について説明がなされた。

7) 論文集編集委員会からの報告

大堀理事より、論文集編集委員会の活動や論文投稿状況の報告がなされ、異議なく承認された。

8) 会誌編集委員会からの報告

高橋理事より資料 26-06 に基づき会誌編集委員会の活動報告がなされた。会誌 NO. 31 は順調に編集作業が進んでいること、特集は「地震リスクの評価・コンサルティング ～保険業界における実務のトレンド～」であることが報告され、異議なく承認された。

外部のWEBストレージ (DropBox) の利用について、前回、会誌編集委員会から提案した内容に関する他学会のヒアリングの結果、会誌編集委員会での試用結果等が報告され、幹事、委員、印刷会社間のファイルの共有のため、セキュリティの高い有料版の利用 (トライアル) も含めて検討していく予定であることが報告された。

9) 国際委員会、地震災害対応委員会からの報告

楠理事より、国際委員会、地震災害対応委員会の活動報告がなされた。ESG についてメールベースで審議中であること、大会に国際委員会から委員を出すことについて検討中であることが報告された。台湾の地震被害報告書について、日本建築学会と日本地震工学会の共著とすることで調整中であることが報告された。日本建築学会の費用負担とすること、日本地震工学会では購入を行うことが報告され、異議なく承認された。

10) 情報コミュニケーション委員会からの報告

中村いずみ理事、山口理事より、資料 26-07 に基づき情報コミュニケーション委員会の活動報告がなされた。12月28日に JAEE Newsletter Vol. 5, No. 3 (通算第 16 号) を刊行したこと、2/1 に IC 委員会を開催し次号の JAEE Newsletter の内容を議論し、刊行準備を進めていることが報告された。次号の JAEE Newsletter の内容は発刊日：4/28 (原稿締切：4/3) 、特集：文化財の防災とする。その他、Web メンテナンスについて報告があった。

11) 広報部会からの報告

入江理事より、資料 26-08 に基づき 17WCEE 仙台開催決定に伴うプレスリリースの作成・配布に関する報告、日本地震工学会誌のメディア (記者クラブ) への学会誌 No.30 の配布に関する報告など広報部会の活動概要の報告がなされた。

12) 【メール審議】役員候補推薦委員会の新規委員について

田中理事より資料 26-09 に基づき、役員候補推薦委員会の新規委員の候補者に関するメール審議が承認されたことが報告された。また、長島理事より、候補者全員の承諾がいただけたことが報告された。

E1. 報告事項議事録

議案

第 1 号 入退会者

吉見理事より、資料 26-10 に基づき正会員 10 名、学生会員 4 名、法人会員 1 社の入会希望者の報告があり、異議なく議決された。また、退会者と会員数について報告が行われた。会費未納者については、各理事の知人等に連絡をとることとした。

第 2 号 委員会委員の委嘱

田中理事より、資料 26-11 に基づき委員会委員の委嘱について説明があり、異議なく議決された。

第 3 号 共催・後援・協賛等

田中理事より、資料 26-12 に基づき後援 3 件、協賛 2 件の名義使用依頼について説明があり、異議なく議決された。

第 4 号 新規研究委員会の立上げについて

中埜副会長より、資料 26-13 に基づき新規研究委員会の立上げについて説明があり、2 件の提案に対して、「強振動評価のための深部地盤モデル化手法の検証に関する研究 (松島真一委員長)」の 1 件を採択することが報告され、異議なく議決された。

第5号 平成29年度事業計画（案）

田中理事より、資料26-14に基づき平成29年度事業計画案が説明され、異議なく議決された。本内容を3月31日に内閣府に提出することとする。

第6号 平成29年度収支予算書（案）

長島理事より、資料26-15に基づき平成29年度収支予算書案および収支の改善案について説明がなされ、異議なく議決された。本内容を3月31日に内閣府に提出することとする。

第7号 今年度の表彰について

(7-1) 功績賞

吉見理事より、資料26-16に基づき表彰委員会の結果が説明され、濱田政則氏、防災科研兵庫耐震工学研究センターの2者を総会に推薦することが報告され、異議なく議決された。

(7-2) 功労賞

吉見理事より、資料26-17に基づき表彰委員会の結果が説明され、WCEE招致活動への貢献から伊藤仙台副市長、日本地震工学会の運営への貢献から前総務理事の副島氏に贈呈することが議決された。

(7-3) 名誉会員

木全副会長 資料26-18に基づき表彰委員会の結果が説明され、國生剛治氏、原文雄氏、安田進氏、吉田望氏、若松加寿江氏、和田章氏に贈呈することが議決された。所属は5月の総会時点に修正することとする。

(7-4) 感謝状

木全副会長より、資料26-19に基づき表彰委員会の結果が説明され、年次大会の地方開催の成功に対する感謝として、感謝状を高知工科大学長磯部雅彦氏に贈呈することが議決された。

(7-5) 論文賞

中埜副会長より、資料26-20に基づき論文賞の選考方法および候補論文の推薦理由について説明があり、「2011年東北地方太平洋沖地震の東京湾西岸部に於ける周期2～3秒の強震動生成要因（津野靖士ら）」と「見かけ入射角を考慮したスペクトルインバージョン解析法（天野文男ら）」の2件の論文とすることが議決された。

(7-6) 論文奨励賞

大堀理事より、資料26-21に基づき論文奨励賞の選考方法および候補者の推薦理由について説明があり、坂井公俊氏（鉄道総合技術研究所）「地盤全体系の強度指標の提案とその簡易推定法に関する検討」と杉野未奈氏（京都大学大学院）「2016年熊本地震における益城町の

建物被害の分析」の 2 名とすることが議決された。5 名の候補者の記載について議論がなされ、候補者名を削除することが確認された。

第 8 号 論文投稿料の改定について

大堀理事より、資料 26-22 に基づき論文投稿料の改定について、来年度より論文掲載料を 1 論文当たり 1 万円値上げすることが報告され、異議なく承認された。値上げについてできるだけ早く告知を行い、6 月 1 日より値上げする方向で進めることとする。次回 JAE News の記載方法について検討することとする。

第 9 号 会誌投稿要領の修正について

高橋理事より、26-06-2 に基づき、会誌投稿要領（修正案）について、学会ホームページにある会誌投稿要領が実態にそぐわない部分、追加した方がよい情報があることが報告され、修正案とおりの修正を行うことについて異議なく議決された。

懇談事項

13) 理事会のスリム化案について

吉見理事より、資料 26-23 に基づき理事会のスリム化案について説明がなされ、理事の人数を平成 28 年度の 18 名から、平成 29 年度は 16 名とすることが提案された。事業企画委員会から理事 2 名体制とする必要があることが説明された。議論の結果、事業企画委員会担当理事を 2 名とすることが承認された。

14) 次期理事会理事候補者の選考について

田中理事より、資料 26-24 に基づき理事からの推薦者の報告があり、次期理事会理事候補者を以下とすることが確認された。今後、ご本人の承諾を得たのち、総会に推薦することとする。

また、WCEE 担当理事を任期 4 年として、目黒会長、中埜副会長で選考し、次回理事会で審議することとした。

- ・総務：佐藤吉之株式会社(竹中工務店)
- ・論文集編集：末富岩雄(株式会社エイト日本技術開発)
- ・会誌編集：平田京子(日本女子大学)
- ・JEES 委員：高橋章浩(東京工業大学)
- ・事業企画：中尾吉宏(国土交通省)
- ・会計：藤本滋(神奈川大学) (中村いずみ理事に機械分野の方を打診していただく)
- ・国際、地震災害対応：田村修次(東京工業大学)

15) 規程・規則の改定について

吉見理事より、規程・規則の改定について口頭で説明があり、次回理事会に改定案を提示することが報告された。

16) 会員関係規則の改定について

木全副会長より、資料 26-26 に基づき会員関係規則の改定について説明があり、入会金及び会費の免除を申請しようとする個人会員の届出書の案などが報告された。大規模地震災害を大規模地震災害等とすること、当該年度と期限を設定することの 2 点を修正することとした。

17) 論文賞細則の改定について

中埜副会長より、資料 26-27 に基づき論文賞細則の改定について説明がなされた。修正案に対して、「論文賞選考委員が評価を行う」部分を「論文賞選考委員会が評価を行う」に修正することとなった。また、細則の改定を委員長が行える点を会長が変更できることに改定することとなった。以上 2 点を表彰委員会の承認を取って次回理事会で報告することとする。

18) 2018 年日本地震工学シンポジウムについて

中埜副会長より、資料 26-28 に基づき 2018 年日本地震工学シンポジウムについて今後のスケジュールおよび各学会への共催依頼と委員の選考状況などが説明された。

19) 17WCEE 関連

中埜副会長より、資料 26-29 に基づき 17WCEE の活動状況について説明がなされた。

20) システム性能評価委員会セミナー開催について

中埜副会長より、資料 26-30 に基づきシステム性能を考慮した産業施設諸機の耐震評価研究委員会主催の「耐震基準の相違がもたらす課題と施設全体の安性照査必要」セミナーの開催概要について説明がなされた。

21) 柴田明徳先生の件（目黒会長）

目黒会長より、柴田明徳先生より、強震記録を自由に利用できるように提言したいとの相談があったことが報告された。日本地震工学会の強震データの販売は毎年 80 万円程度の収入があるため、直ぐには無料にできないが、古くなったデータなどから無料化していくことを今後検討していくことが確認された。元々の価格設定がなされた状況を調査し、継続審議することとした。

22) 『活断層が分かる本』出版の報告

吉見理事より、『活断層が分かる本』について、地盤工学会、日本応用地質学会、日本地震工学会の共著で出版されたことが報告された。各研究委員会に対して、日本地震工学会名の出版物は、理事会の承認を得る必要があることを周知することが確認された。

23) 事務局長の交代について

木全副会長より、次回総会後から事務局長が吹野氏から小松氏に交代することが報告された。

24) 今後の予定について

田中理事より、資料 26-33 に基づき、来年度を含む今後のスケジュールについて説明がなされた。

次回予定：平成 29 年 4 月 18 日（火） 16 時より

以上 この議事録が正確であることを証します。

平成 29 年 3 月 30 日

議長 目黒 公郎

監事 勝俣 英雄

中村 晋